

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6348608号
(P6348608)

(45) 発行日 平成30年6月27日(2018. 6. 27)

(24) 登録日 平成30年6月8日(2018. 6. 8)

(51) Int. Cl.		F I	
GO 2 B 6/46	(2006. 01)	GO 2 B 6/46	
GO 2 B 6/36	(2006. 01)	GO 2 B 6/36	

請求項の数 10 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2016-558654 (P2016-558654)	(73) 特許権者	591034154 オランジュ
(86) (22) 出願日	平成27年3月23日 (2015. 3. 23)		フランス・75015・パリ・リュ・オリ
(65) 公表番号	特表2017-509023 (P2017-509023A)		ヴィエ・ドゥ・セレ・78
(43) 公表日	平成29年3月30日 (2017. 3. 30)	(74) 代理人	100108453
(86) 国際出願番号	PCT/FR2015/050726		弁理士 村山 靖彦
(87) 国際公開番号	W02015/145055	(74) 代理人	100110364
(87) 国際公開日	平成27年10月1日 (2015. 10. 1)		弁理士 実広 信哉
審査請求日	平成28年11月22日 (2016. 11. 22)	(74) 代理人	100133400
(31) 優先権主張番号	1452674		弁理士 阿部 達彦
(32) 優先日	平成26年3月27日 (2014. 3. 27)	(72) 発明者	ダニエル・ルコック
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		フランス・F-22140・ベルエ・コン フォール・クロ・デ・シャテーニュ・3・
		審査官	右田 昌士

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 予め接続されたケーブルリールを含む光エンクロージャ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

・ 平面の表面とほぼ平行に固定できるベース(12)と、

・ 前記ベースにほぼ垂直な軸(4)の回りに回転するように配置されるスプール(13)と、

・ 前記スプールに巻き付けられる光ケーブル(5)と、

・ 接続具(16)であって、その内側(17)は、光エンクロージャ(11)の内部において、ケーブルの内部端部と称される前記ケーブルの第1端部(7)に接続され、その接続具の外側(18)は、外部の光接続プラグに接続するように想定される、接続具(16)と、

・ 前記ベース(12)および前記スプール(13)の上部を覆蓋し得る取り外し可能な蓋(22)と、

を含む光エンクロージャ(11)であって、

前記ケーブルは、ケーブルの外部端部と称される前記ケーブルの第2端部(8)を引き出すことによって、前記光エンクロージャ(11)からほどこように想定され、この引き出しによって前記スプール(13)が前記軸(4)上において回転する、光エンクロージャ(11)において、

前記接続具(16)が、前記スプール(13)に結合されると共に、前記スプール(13)の上面の上側の少なくとも1つの位置と、前記蓋(22)が前記ベース(12)および前記スプール(13)を覆蓋することを可能にする、前記スプール(13)の前記上面